



# ひまわり通信



長かった梅雨がやっと明けたと思ったら、暑い日が続いていますね。みなさんいかがお過ごしでしょうか。今月も全国の協力者の方々とひまわりのご紹介をしていきたいと思ひます。

今後も継続してご紹介させていただき予定なのでお写真や栽培記録などをお持ちの方は当法人宛もしくは当法人のメールアドレスまでお寄せください。

●兵庫県三田市のご協力者さま（ブログ <http://sap-garden.blog.so-net.ne.jp/>）

保育園の園児や園芸福祉を学ぶ短大生、また、三田市内のありまふじ公園においては特別支援学校の生徒や公園のボランティアスタッフの方々と一緒にひまわりを栽培して下さるなど、地域の方々と共に協力して下さっています。その様子はブログにてご覧になることができます。



●新座ひまわりプロジェクト（ブログ [http://blogs.yahoo.co.jp/himawari\\_pro2013](http://blogs.yahoo.co.jp/himawari_pro2013)）

埼玉県新座市の障害者団体「キャベツの会」「にんじん畑」のメンバーが中心となって立ち上げられ、市の観光農園「本田のお花畑」の一部でひまわりを栽培して下さっています。市民交流や福島への支援・絆づくりを目標に活動されています。



始まりにも書きましたが、福島の梅雨明けは8月の初旬と、今年は随分と長い梅雨でした。このような多湿な時期は、病害虫の被害が最も多いときです。当法人の「ベーシック憩」でもひまわりを栽培しているのですが、害虫の被害を受けて病気になってしまいました。特に被害が大きかったのは、「カイガラムシ」という虫です。今回はこのカイガラムシによる被害やその対策についてご紹介いたしますので、心当たりのある方はご参考にいただければ幸いです。

### 【カイガラムシとは】

吸汁性の害虫。湿度が高いところで発生しやすい。多くは2～3mmと小さく、800種もの種類がいるのではないかとされています。その排泄物には過度の糖分が含まれており、葉に付着することによってすす病原菌が繁殖し、葉が黒くなってしまいます。

### 【発見のポイント】

- ・葉にすす病が出ていないか
- ・アリが登っていないか
- ・樹の根元や幹の窪みにアリが土などを被せていないか

上記のいずれかに当てはまる場合は要注意です。葉の裏にも注目して、カイガラムシがいないか確認してみましょう。

### 【予防・防除法】

予防策としては、水はけ・風通し・採光を十分に確保することが大切です。

カイガラムシの駆除は難しいとされています。成虫は殻をかぶっていたり、ロウ物質で覆われたりしているので薬剤が効きにくいのです。ですが、幼虫には効果があるとのことですので早期発見が重要になります。毒性の低いスチミオン、オルトランなどの薬剤が良いでしょう。大変な作業にはなりますが、成虫を除去するには、葉を傷つけないように歯ブラシでこすり落とすのも、効果的なようです。

参考 URL

「公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会」<http://www.jataff.jp/kaigara/index.htm>

「住友化学園芸」<http://www.sc-engei.co.jp/navi/gaichu06.html>

今年度のひまわり感謝祭は **10月26日** に開催いたします。障がいの有無に関わらず、市民が一緒になって開催するこのイベントでは、皆さんの様々なパフォーマンスが披露される予定になっています。(詳細は追ってご連絡させていただきます。) イベントでは、恒例のひまわりフォトコンテストも同時に開催されます。こちらでは、ひまわりプロジェクトの協力者の方々が育ててくださったひまわりをもとにした絵画、写真作品の中から、特に素晴らしいものを表彰させていただくほか、パネル展示という形で栽培記録や取り込んでくださった団体の本来の活動などをご紹介させていただきます。ひまわりもこれから綺麗な花を咲かせる季節となります。水やりや追肥の際などでも、是非写真を撮ってお送りください。

(編集:川島ゆかり)

